2023年度　事故・苦情　報告書

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

	定員	項　目	件数	主　　な　　状　　況
豊中あけぼのこども園	80	事故	5	○蜂に刺される　　○目隠しをしていて額を打って皮下血腫 ○手尾足車を押したまま転倒し左手親指を裂傷　　○玩具に躓き目尻を裂傷 ○（家庭から持ってきた）水筒に入っていた洗剤を誤飲
		苦情 意見	4	○子ども同士のトラブル：2件　　○産休中の登園時間について ○園庭の砂が側溝へ流れ出た事について（近隣より）
		検証		○受診を検討するような事例については、必ず保護者に連絡報告をすることや事故原因を看護師・チーフを中心に検証し、全体会議にて周知する。 ○子ども同士のトラブルについては発達上の姿である事も伝えていきつつ、各家庭の間に園が入って問題解決へと進めていく。 ○産休中の対応等、市や法人で決められている事は園長を中心に保護者へ説明する事を徹底すると共に、職員も把握出来るように周知徹底を行う。
あけぼの風の森保育園	60	事故	7	○腰が据わっていない園児が前に転倒 ○鉄棒にくくってブランコにしていた縄が転倒した時に首に引っかかる ○室内用木製滑り台のはしごから転落し後頭部を打つ ○絵本の取り合いの中で目に絵本があたる ○アレルギー児の誤食（職員による配膳ミス）　　○噛みつきによる出血
		苦情 意見	2	○腰が据わっていない園児が前に転倒した際の保育者の対応について ○噛みつきの対応について
		検証		○ヒヤリハットの検証、振り返りを行い職員全体の問題として受け止め全員で周知を行う。 ○トラブルについては子どもの発達についての知識を保護者の方にお伝えし、保育者側の丁寧な説明や対応について再度抑える。
あけぼのぶんぶん	45	事故	3	○他児が押す押し車に乗っていて前に倒れ前歯が動揺 ○午後食の子どもに誤っておやつを提供 ○テラスで車を走らせている時に前に倒れ前歯が動揺
		苦情 意見	2	○保育者の子どもへの言葉掛けについて ○トイレマットに滑り止めが付いておらず子どもが滑って転倒した
		検証		○提供ミスは、職員の思い込みから起こった。必ず献立表の確認と厨房で入れている容器に表記していく。 ○子どもの人権・不適切保育について会議で話し合いを行い、常に意識していけるように職員同士で声を掛け合っていく。 ○危険が予測されることには、すぐに対応をするようにする。
あけぼのドロップス	60	事故	13	○椅子を左足指に落とし鬱血　　○油性ペンで自ら顔に自ら描き目にペンが入り充血 ○転んで丸太ですねを打ち裂傷　　○走っていて柱にぶつかり頭部裂傷 ○顔を他児に引っかかれ裂傷：4件　　○水筒を右足指に落とし鬱血 ○木の上から転落　　○絵の具が目に入り充血 ○転倒して地面で前歯を打ち亜脱臼：2件
		苦情 意見	1	○職員間の伝達が不足しており、保護者に伝達が行えなかった。
		検証		○受診をした事例については必ず保護者に連絡報告を行い、事故原因をリスクマネジメントリーダーや看護師を中心に会議で検証し、対応や意識統一を行う。 ○子ども同士のトラブルについては前後の状況などを伝えた上、発達上の姿である事も理解に繋がるように話をしていく。
あけぼのぽんぽこども園	150	事故	11	○転倒し右上前歯打撲3件　　○クッキング中に油が飛び右頬火傷（軽症） ○テラスで転倒し右おでこ裂傷　　○走っていて転倒した際右足首捻挫 ○園児同士のトラブルで玩具がおでこに当たり裂傷 ○転倒した際に右肘内障　　○木の遊具から転落した際に右目横裂傷 ○椅子から飛び降りた際に外壁にぶつけ顎裂傷 ○園児のフラフープが口に当たり上唇裂傷
		苦情 意見	2	○スギ薬局駐車場利用について
		検証		○園内の危険個所の安全チェックを行うと共に、ヒヤリハットで上がった内容から設備や職員が意識できるように進めていく。 ○スギ薬局駐車場のルールの徹底し、注意喚起を行う。また駐車許可証の条件の見直し利用台数の制限を進めていく。